

## 実践タイトル

## ものすごい生きものずかん



## ひとこと

子どもの『わかった！』の笑顔が大好きです。

## 実践者 金城 沙織

学校名：名護市立大北小学校  
学校所在地：沖縄県名護市大北4丁目19-37  
TEL：0980-53-1648  
URL：<http://sw.city.nago.okinawa.jp/ookita-s/>

## 使用するICT機器・準備物

## 指導者

|        |                    |
|--------|--------------------|
| デジタル教材 | 指導者用デジタル教科書(教材)    |
| 使用端末   | Windows, Chrome OS |
| その他機器  | 電子黒板               |

## 学習者

|        |                   |
|--------|-------------------|
| デジタル教材 | 学習者用デジタル教科書       |
| 使用端末   | 1人1台使用(Chrome OS) |
| その他機器  |                   |

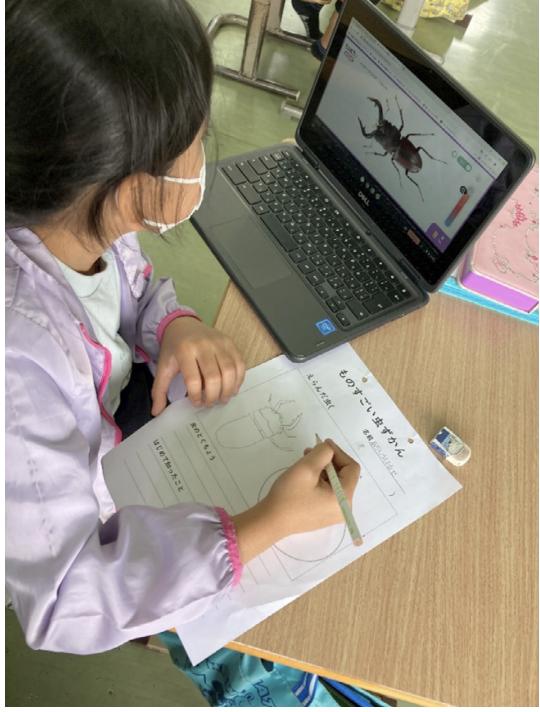
## 学校内のICT環境、活用実態

授業を展開するにあたって使用したICT機器は、教師用PC(Windows)、指導者用デジタル教科書(啓林館 いきいき せいかつ下)、電子黒板である。また、児童用としてChromebook、学習者用デジタル教科書である。本校では、2021年度より校内研修の研究主題を『自ら進んで学び合う子どもの育成～1人1台のタブレット端末の効果的な活用を目指して～』としている。GIGAスクール構想も踏まえ、1人1台タブレット端末(Chromebook)を効果的に活用していくことで児童の学習意欲の向上を図り、個別最適な学びを実現していくことがそのほかの課題解決にもつながり、自ら進んで学び合う児童が育つと考えている。1年目の2021年度はまず「慣れる」

期間として、どんな使い方ができるのか生活科をはじめとする様々な教科で活用し、基礎的・基本的な力を身に付けていくようしている。また、本学級にのみ電子黒板が設置され、電子黒板の操作、利用方法について研修を受け、電子黒板と指導者用デジタル教科書を組み合わせた効果的な授業の展開を工夫してきた。児童1人1台端末と学習者用デジタル教科書の整備をきっかけに、より有効な活用ができるのではないかと考え、試行錯誤しながら現在に至っている。様々な教科等でChromebookを活用しているので、児童はデジタル教科書の操作などには少しづつ慣れてきて上達している。しかし児童それぞれ個人差があり、操作が十分にできない子もいる。

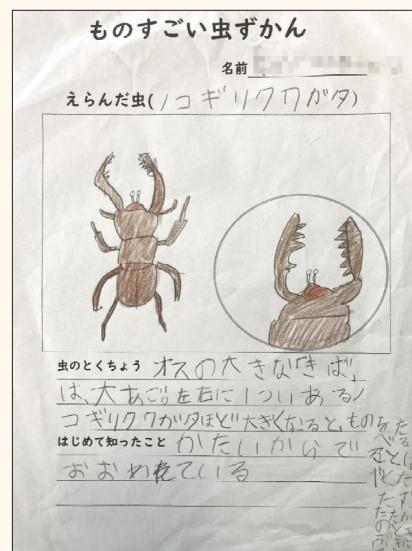
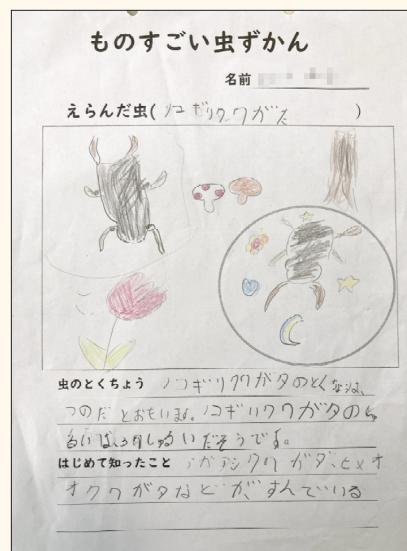
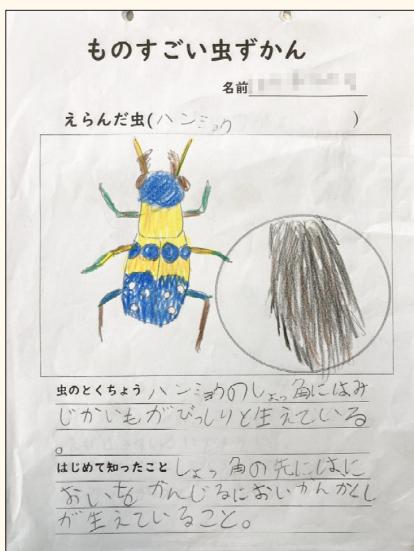
授業の展開 —— いきいき せいかつ下 教科書 p.42~43 1時間目／2時間中 ——

| 授業の流れ | 主な学習活動  | ▶ 教師の手立て <input checked="" type="checkbox"/> 留意点 機器・教材  |
|-------|---|---|
| 導 入   | <p>■ 指導者用デジタル教科書 p.43 のアイコンからメニューを開き、NHK for School 「ものすごい図鑑」を提示する。</p>  <p>■ 今日の学習の流れについて知る。</p>  | <p>▶ 指導者用デジタル教科書<br/>電子黒板</p> <p>▶ 学習のめあてを確認し、操作の手順を確認する。<br/><input checked="" type="checkbox"/> ペアで操作方法を見合う。</p>  |
| 展 開   | <p>■ 学習者用デジタル教科書から「ものすごい図鑑」を開き、個人で操作して詳しく調べたい昆虫を選ぶ。</p>   | <p>学習者用デジタル教科書</p> <p>▶ 操作が上手な子をほめ、隣や周りも同じように操作できているか声をかける。<br/><input checked="" type="checkbox"/> 困っている子が多い場合は、全体で操作のしかたをもう一度確認する。</p> <p>▶ たくさんの特徴（画面内に緑の丸印が現れる）を見つけるように声をかける。</p> |

| 授業の流れ      | 主な学習活動   | ▶ 教師の手立て <input checked="" type="checkbox"/> 留意点 機器・教材  |
|------------|--|---|
|            | <p>■ 選んだ昆虫の特徴について、調べる。</p>  <p>■ それぞれが自分の端末を使い、詳しく調べる。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 見つけた特徴を隣や周りの友達と共有する。</li> <li>▶ 「すごい」「初めて知った」部分をワークシートに書くように促す。</li> <li>▶ 特徴を拡大して見るよう、文章だけでなく、見た目の特徴に注目するように声をかける。</li> </ul>                         |
| <b>まとめ</b> | <p>■ 調べたことや昆虫の絵をワークシートにまとめる。</p>    | <p><b>指導者用デジタル教科書</b><br/><b>電子黒板</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 書いたワークシートを隣どうしで見せ合う。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 友達のワークシートのよいところを見つけられるように声をかける。</li> </ul> |

## 児童の反応、実践の手ごたえ

- 導入の段階で、大きな画面に映し全員で確認しながら、課題意識をもたせることができた。
- デジタル教科書を活用することで、児童の興味・関心が高まり、授業への参加意識が高くなかった。
- 昆虫の特徴を見ていくとバッジがもらえ、ポイントがもらえたと喜んで色々な特徴を探していた。
- 沖縄では、なかなか見られない生き物についても知ることができた。
- 次年度に理科で学習する「昆虫の体」に少し繋げることができた。
- これまで図鑑や本を数名で共有して調べていたが、1人1台端末になり自分が調べたい昆虫についてそれが自分で操作することによって、自分のペースで調べることができた。
- 学習者用デジタル教科書を自分の端末で使用することにより、より詳しく色や形を拡大してしっかり観察することができるので、細かいところまで確認することができ、絵を描くのもスムーズになった。



## まとめ

2021年度は、コロナウィルス感染症拡大のため休校やオンライン授業などがあり、うまくいかないことも多かった。もう少し時間的な余裕があれば、昆虫の特徴を全て見つけてその中で児童自身が一番すごいと思ったことなどを他の児童と共有する場面も作ってあげたかった。ICTは、児童の興味・関心を引き理解を深めることができると感じた。ま

た、他教科と関連付けて学習を行うことで学習の広がりを持たせることができると考える。しかし、ICTありきで授業を構築するのではなく、あくまでもツールの一部として位置づけデジタルとアナログのより良いバランスを探っていき、より質の高い授業につなげていきたい。